

KENWOOD

特定小電力ベース機

UBZ-S700

取扱説明書

お買いあげいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

キーメニュー設定

キーメニュー	33
トランシーバーキーの設定	34
リモコンキーの設定	34

選択呼出し機能

選択呼出し機能の設定	36
自局 ID 設定	36
全員呼出し設定	36
所属グループ呼出し設定	37
個別呼出し設定	37
自局 ID 送信機能設定	38
選択呼出しミュート設定	38
選択呼出しの操作	39
相手を呼び出す	39
選択呼出し ID を受信すると	39
ボイスメールで返答する	39
ステータスメッセージ	40
ステータスメッセージを送る	40
ステータスメッセージを受信したら	40

メモリーチャンネル

メモリーチャンネルの使いかた	41
メモリーチャンネルの登録	42
メモリーチャンネルの呼出し	43
メモリースキャン	43

エマージェンシー機能

エマージェンシー操作	44
エマージェンシーメニュー	45
エマージェンシー機能設定	45
エマージェンシーオーディオ動作設定	45
バックグラウンドトーン設定	46
エマージェンシー通知先 ID 設定	46

その他

オプション一覧	47
故障かな?と思ったら	48
リセット	49
保証とアフターサービス	50
仕様	51

説明上の注釈表記について



このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。



このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

-  **危険** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

-  △記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。
-  ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。
-  ●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを AC コンセントから抜け）を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危険

使用環境・条件

-  引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリン等の可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。

⚠警告

使用環境・条件

-  電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
-  航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では、絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたすおそれがあります。
-  本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

AC アダプターの取扱について

-  AC100V 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  タコ足配線はしないでください。過熱・発火の原因となります。
-  濡れた手で電源プラグに触れたり、電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
-  電源プラグは AC コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
-  電源プラグの端子にほりりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因になります。

使用方法について

-  機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカー・マイクロホン等のケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。
-  本機に水が入らないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
-  水などで濡れやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
-  本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

異常時の処置について

-  内部に水や異物が入った場合、落したり、ケースを破損した場合、または異常な音が出たり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
-  落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。
-  煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをACコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
-  雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源スイッチを切り、充電中は電源プラグをACコンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。

保守・点検

-  本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

⚠️ 注意

使用環境・条件

-  テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
-  直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
-  湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
-  調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

使用方法について

-  スピーカー／マイクロホン端子にはオプションのイヤホン付きマイクロホンやヘッドセット、スピーカー・マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

電波法に関するご注意

- 本機裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。使用できなくなります。
- 本機を分解したり、改造して使用することは電波法により禁止されています。
- 他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。
- 無線機の使用が禁止されている所があります。航空機内、空港敷地内、新幹線車両内などでは使用しないでください。

運用モードについて

本機は2つの運用モードを選択できます。

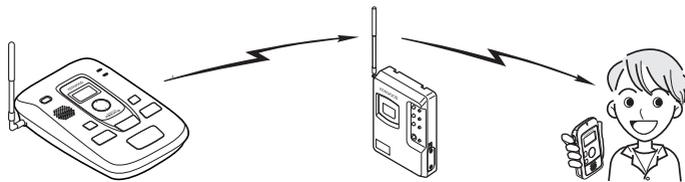
■ シンプレックスモード (SP)

直接トランシーバー同士で通話するモードです。20チャンネルに対応し、従来の9チャンネルと11チャンネルのどちらも使用できます。



■ レピーターアクセスモード (セミデュプレックスモード: SdP)

レピーター(中継器)を介して通話するモードです。安定して通話できる範囲が広がります。27チャンネルに対応し、従来の9チャンネルと18チャンネルのどちらも使用できます。



- トランシーバー間で通話のできる距離は環境によって大きく異なりますが、見通しのよい場所で800mぐらいです。金属物体などの障害物があると、通話のできる距離が100m～200mと短くなることもあります。
- アンテナは垂直に立てて使用してください。

選択呼出し機能について

選択呼出し機能を使用すると、チャンネル番号やグループ番号が同じでも、全員、所属グループ、または個別と選択して呼出すことができます。

使用環境について

- 激しい振動がある、水がかかる、粉塵がある環境では使用しないでください。
- 水分が付いたときは、ただちに乾いた布でよくふき取ってください。
- テレビやラジオ、パソコンなど電子機器の近くで使用すると、電波妨害を与えたり、受けたりすることがあります。これらの機器からは離れてお使いください。

本機の付属品

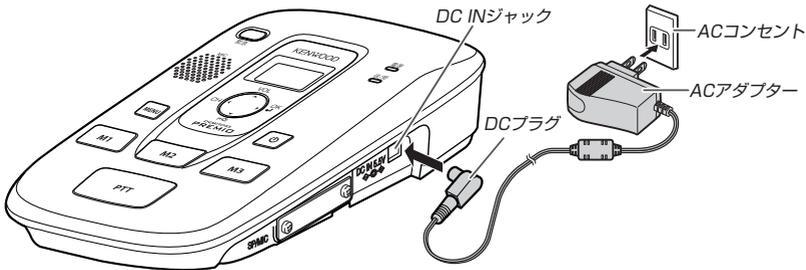
付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

・ ACアダプター	1
・ 壁掛け用ネジ	2
・ マイクフック	1
・ プラグ固定金具	1
・ プラグ固定金具用ネジ	1
・ 保証書	1
・ ケンウッド全国サービス一覧	1
・ 取扱説明書(本書)	1

設置

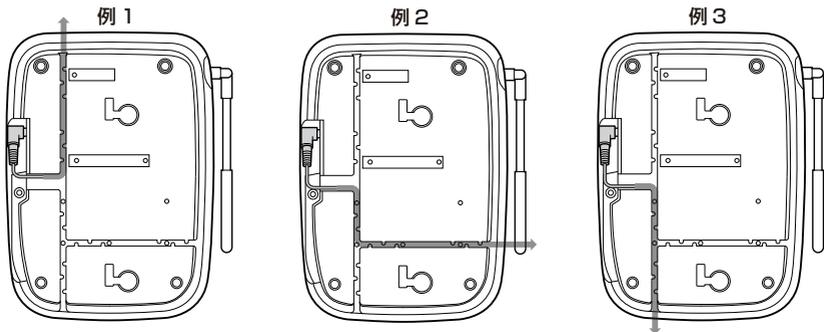
電源の接続

付属の AC アダプターの DC プラグを本機右側面の DC IN ジャックに接続して、AC アダプターの電源プラグを AC コンセントへ差し込みます。



ACアダプターコードの引き回し

AC アダプターのコードは、設置状況に合わせて本機底面のガイドに沿って引き回し、固定してください。



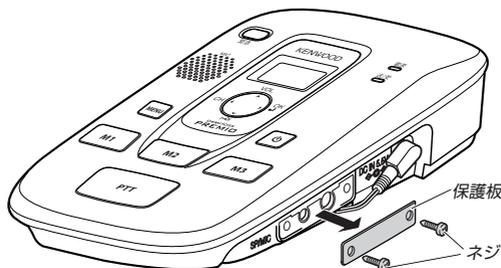
- ◆ AC アダプターのコードに足を引っ掛けたりすると、本機の落下・破損の原因となります。コードに無理な力がかかるような場所への設置は避けてください。
- ◆ AC アダプターは専用の付属品を使用してください。付属品以外のものを使用した場合、火災・感電・故障の原因となることがあります。

オプションの接続

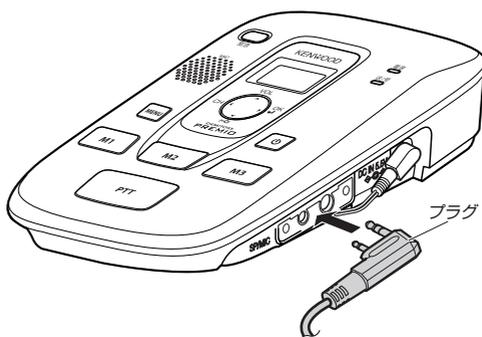
スピーカーマイクロホンなどを接続するときは、本機右側面のSP/MICジャックに接続します。また、プラグが外れたり接触不良を防ぐため、プラグ固定金具を取り付けてください。

1 SP/MICジャック保護板を取り外す

プラスドライバーでネジを左方向に回して取り外し、保護板を外します。



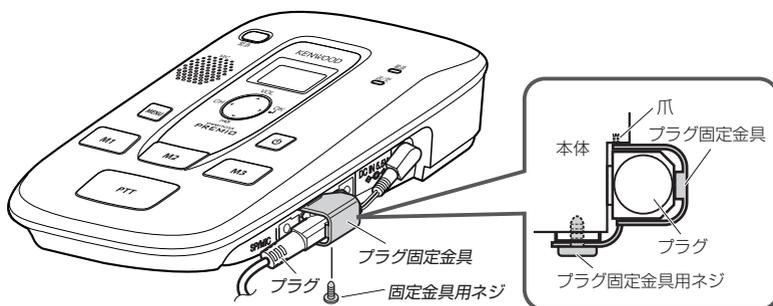
2 オプション製品のプラグを接続する



3 プラグ固定金具を取り付ける

プラグ固定金具とプラグ固定金具用ネジを使用してプラグを固定します。

- プラグ固定金具上部の爪を本体の溝に差し込んでから、固定金具用ネジでプラグ固定金具を固定します。



本機を壁に掛けて使用するとき

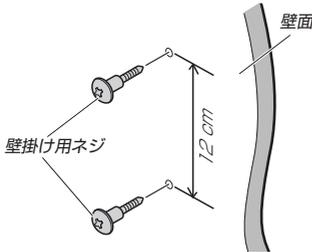
本機を壁に掛けて使用する場合は、壁掛け用ネジを使用して固定します。



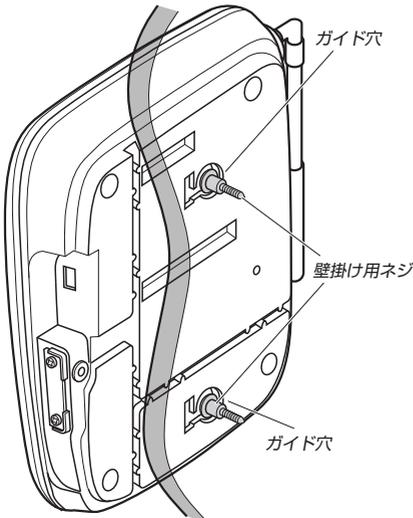
- ◆ 本機は安定した丈夫な壁や柱に取り付けてください。手で押すとへこんでしまうような壁には取り付けないでください。石膏ボードや薄いベニヤ板などは、取り付け用のネジがゆるんで本機が落下する恐れがあります。
- ◆ 電波に影響を与えるものは避けてください。スチール製品、電子レンジ、無線を使用するコンピュータ周辺機器などの近くには設置しないでください。正常に通信できない場合があります。

1 壁掛け用ネジを取り付ける

上下 12 cm の間隔をあけて 2 ヶ所に壁掛け用ネジを取り付けます。

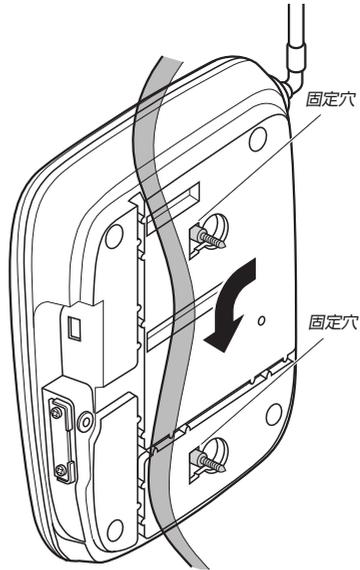


2 本機底面のガイド穴をネジの頭に合わせる



3 本機を右方向にスライドさせ、下方にスライドしてネジの頭を固定穴に入れる

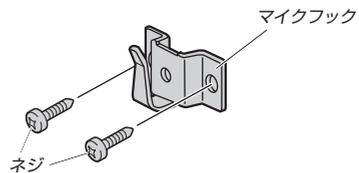
本機を前後に動かし、固定されていることを確認してください。



マイクフックの取り付け

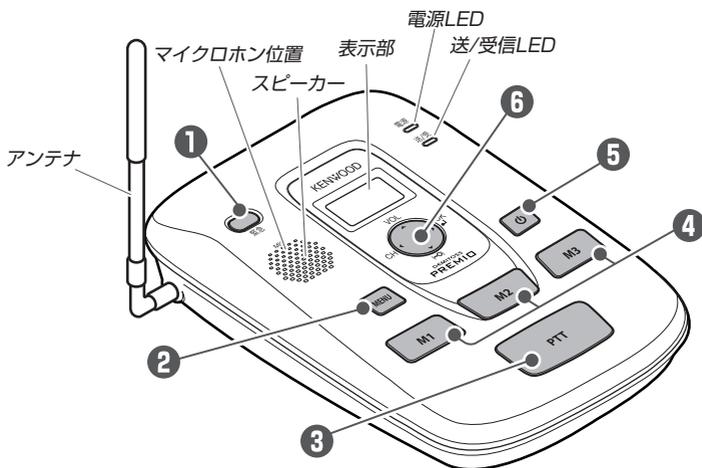
スピーカースピークホンを壁にかけて使用したい場合は、付属のマイクフックを壁に取り付けてください。

(ネジは付属していません。φ3の長さ10 mm程度の市販のネジを使用してください。)



各部の名称と機能

各キーの機能説明



1 【緊急】(オレンジ色)キー

2 秒以上押し続けるとエマージェンシー機能が動作します。《☛ p.44》

2 【MENU】キー

- 押すと簡易メニューを表示します。《☛ p.14》
- 1 秒以上押すと選択呼出しリストを表示します。《☛ p.39》
- 押しながら電源を ON にすると、メニューモードを表示します。《☛ p.16》

3 【PTT】キー

送信するときに押します。離すと受信待受状態になります。

4 【M1】【M2】【M3】キー

- 1 秒以上押すと、現在選択しているチャンネルやグループ番号または選択呼出し ID を押したメモリーチャンネルキーに登録するモードになります。《☛ p.42》
- 押すと、押したメモリーチャンネルキーに登録されているチャンネル番号、グループ番号または選択呼出し ID を呼出します。《☛ p.43》

5 【 ON 】キー

押す(0.5秒以上)ごとに電源が ON/OFF します。

6 【 \blacktriangle 】【 \blacktriangledown 】【 \blacktriangleleft 】【 \blacktriangleright 】キー

- 【 \blacktriangle 】: 音量レベルを大きくします。(VOL)
- 【 \blacktriangledown 】: 音量レベルを小さくします。(VOL)
- 【 \blacktriangleleft 】: チャンネル番号がダウンします。(CH)
- 【 \blacktriangleright 】: チャンネル番号がアップします。(CH)
- 【 \blacktriangleleft 】【 \blacktriangleright 】は別の機能に変更することができます。《☛ p.33》
- メニューの設定は【 \blacktriangle 】【 \blacktriangledown 】【 \blacktriangleleft 】【 \blacktriangleright]を操作しておこないます。
- 【 \blacktriangledown]を押しながら電源を ON にすると、【 \blacktriangleleft 】【 \blacktriangleright 】【MENU】【M1】【M2】【M3】のキーがロックされます。《☛ p.23》

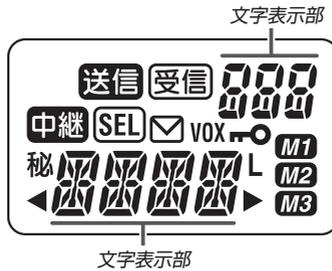
電源LED

電源が ON になると橙色に点灯します。

送受信LED

送信時: 赤色に点灯します。
受信時: 緑色に点灯します。

表示部のアイコン説明



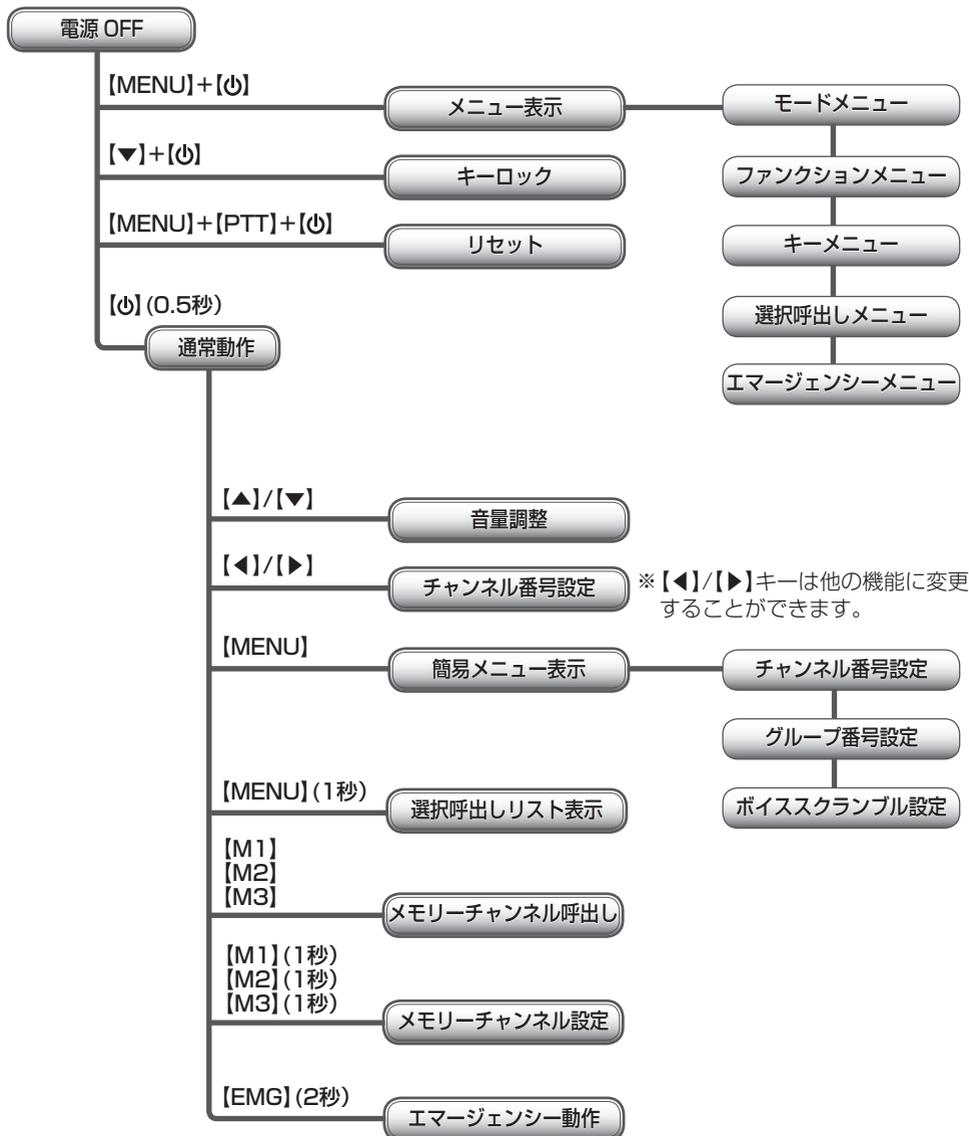
表示	説明	関連ページ
送信	送信中に表示します。	20
受信	受信中に表示します。	
中継	運用モードがレピーターアクセスモードに設定されているときに表示します。	19
秘	ボイススクランブル機能が ON に設定されているときに表示します。	15
SEL	選択呼出し機能を ON しているときに表示します。	36
☑	選択呼出しのメッセージがあるときに表示します。	40
VOX	VOX 機能が ON に設定されているときに表示します。	24
🔑	キーロック機能が ON に設定されているときに表示します。	23
L	ローパワー送信に設定されているときに表示します。	31
◀	設定画面で【◀】キーが有効なときに表示します。	16
▶	設定画面で【▶】キーが有効なときに表示します。	
M1	メモリーチャンネル 1 を呼出しているときに表示します。	41
M2	メモリーチャンネル 2 を呼出しているときに表示します。	
M3	メモリーチャンネル 3 を呼出しているときに表示します。	

各キーの動作図

電源が OFF の状態から各キーを操作したときの動作です。

【キー名称】+【Ⓛ】：キーを押しながら電源を ON します。

【キー名称】(○秒)：キーを○秒以上押します。



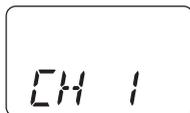
基本操作

電源の ON/OFF

1 【**⏻**】を押す(0.5秒以上)

電源が ON になり、チャンネル番号が表示されます。

<電源 LED は橙色に点灯します。>



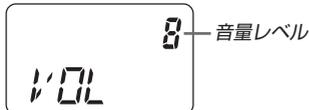
2 【**⏻**】を押す(0.5秒以上)

電源が OFF になり、表示が消えます。

音量の調節

1 【**▲**】を押す

音量が大きくなります。



- 【**▲**】を押し続けると、押している間連続して音量が大きくなります。

2 【**▼**】を押す

音量が小さくなります。

- 【**▼**】を押し続けると、押している間連続して音量が小さくなります。



◆ 音量については、最小音量や最大音量を設定することができます。《「最小ボリューム設定/最大ボリューム設定」▶ p.28/p.29》

チャンネルの切り替え

1 【**◀**】を押す

チャンネル番号が下がります。



- 【**◀**】を押し続けると、押している間連続してチャンネル番号が下がります。

2 【**▶**】を押す

チャンネル番号が上がります。

- 【**▶**】を押し続けると、押している間連続してチャンネル番号が上がります。



◆ 【**◀**】と【**▶**】キーは別の機能を設定することができます。【**◀**】と【**▶**】キーにチャンネル切り替え以外の機能を設定している場合は、チャンネル番号の変更は簡易メニューにておこないます。《「簡易メニューの表示」▶ p.14》

簡易メニュー

チャンネル番号の設定

設定されている運用モードにより下記のチャンネル番号が選択できます。

- 運用モードの切り替えについては《「運用モードの設定」▶ p.19》をご覧ください。

運用モード	設定範囲
シンプレックスモード	CH 1～CH 11、CH h1～CH h9
レピーターアクセスモード	CH 1～CH 18、CH h1～CH h9

1 【MENU】を押す

簡易メニューモードになります。

2 【▲】または【▼】を押して「CH」を選ぶ



3 【▶】を押す

チャンネル番号が点滅します。



4 【▲】または【▼】を押す

チャンネル番号が切り替わります。

5 【▶】を押す

選択したチャンネル番号を確定して、手順2の設定項目選択画面に戻ります。

- 設定が確定したときは、「ピ、ピ、ピ」と確定音が鳴ります。
- 【◀】を押すと選択した設定値は確定しないで、手順2の設定項目選択画面になります。

6 【MENU】を押す

または 10 秒間何もキーを操作しないと、簡易メニューが終了します。

グループ番号の設定

グループ番号を設定すると、同じグループ番号のトランシーバー間でのみ通話ができます。グループ番号は「1～38」が設定できます。グループ番号を使用しないときは「OFF」に設定します。

1 【MENU】を押す

簡易メニューモードになります。

2 【▲】または【▼】を押して「GRP」を選ぶ



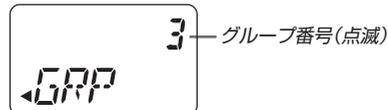
3 【▶】を押す

グループ番号が点滅します。



4 【▲】または【▼】を押す

グループ番号が切り替わります。



5 【▶】を押す

選択したグループ番号を確定して、手順2の設定項目選択画面に戻ります。

- 設定が確定したときは、「ピ、ピ、ピ」と確定音が鳴ります。
- 【◀】を押すと選択した設定値は確定しないで、手順2の設定項目選択画面になります。

6 【MENU】を押す

または 10 秒間何もキーを操作しないと、簡易メニューが終了します。

ボイススクランブル機能の設定

グループ番号を設定すると、ボイススクランブル機能を使用できます。ボイススクランブル機能をONに設定していないトランシーバーでは会話が聞き取れなくなります。

1 【MENU】を押す

簡易メニューモードになります。

2 グループ番号を設定しておく

3 【▲】または【▼】を押して「SCR」を選ぶ



4 【▶】を押す

設定値が点滅します。



5 【▲】または【▼】を押す

設定値を選択します。

設定	動作
oFF(OFF)	ボイススクランブル機能をOFFします。
on(ON)	ボイススクランブル機能をONします。

「on」に設定する「秘」が点灯します。



6 【▶】を押す

選択した設定を確定して、手順3の設定項目選択画面に戻ります。

- 設定が確定したときは、「ピ、ピ、ピ」と確定音が鳴ります。
- 【◀】を押すと選択した設定値は確定しないで、手順3の設定項目選択画面になります。

7 【MENU】を押す

または10秒間何もキーを操作しないと、簡易メニューが終了します。



- ◆ 他のグループが同じチャンネル番号を使用している場合、音声は聞こえなくても受信状態になり、「受信」が点灯します。このときに【PTT】を押しても「ブー」と鳴って送信できません。
- ◆ 運用モードがレピーターアクセスモードに設定されているときは、チャンネル番号とグループ番号はレピーターの設定と同じにします。
- ◆ チャンネル番号、グループ番号、ボイススクランブルの設定は通話する相手の方と設定を合わせてください。全ての設定が合っていないと通話できません。
- ◆ グループ番号とボイススクランブル設定が一致した場合、第三者でも通信を傍受できます。高度な機密を要する通話では、本機のご使用をお勧めいたしかねます。
- ◆ グループ番号をOFFにすると、ボイススクランブル機能もOFFになります。

メニュー

各機能の設定はメニューにておこないます。

メニューは下記のカテゴリーに分かれています。

表示	カテゴリー	内容
MODE	モードメニュー	運用モードを設定するメニューです。
FUNC	ファンクションメニュー	各種の本体機能を設定するメニューです。
KEY	キーメニュー	トランシーバー本体の【◀】、【▶】キー、およびリモコンマイクホンのリモコンキーに機能を設定するメニューです。
SEL	選択呼出しメニュー	選択呼出し機能を設定するメニューです。
EMER	エマージェンシーメニュー	エマージェンシー機能を設定するメニューです。

メニューの操作

1 【⏻】を押し、一度電源をOFFにする

2 【MENU】を押しながら【⏻】を押し、電源をONする

メニューのカテゴリー選択画面が表示されます。



3 【▲】または【▼】を押す

カテゴリーが切り替わります。

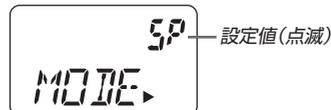
設定したいカテゴリーを選択します。



4 【▶】を押す

カテゴリーがMODEのとき
設定変更画面になります。

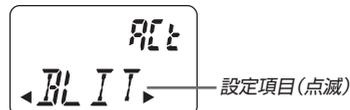
手順7に進みます。



カテゴリーがMODE以外のとき

選択したカテゴリーの設定項目選択画面に切り替わり、設定項目が点滅します。
(例：FUNCを選択したとき)

手順5に進みます。



5 【▲】または【▼】を押して、設定項目を選択する

6 【▶】を押す

設定変更画面になり、設定値が点滅します。



- 【◀】を押すと設定項目選択画面に戻ります。

7 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

8 【▶】を押す

設定値を確定して、設定項目選択画面に戻ります。

- 設定が確定したときは、「ピ、ピ、ピ」と確定音が鳴ります。
- 【◀】を押すと選択した設定値は確定しないで、設定項目選択画面に戻ります。

9 【MENU】を押す

メニューモードが終了します。

各カテゴリの設定項目一覧

モードメニュー(MODE)



表示	設定項目	設定値	初期値	参照ページ
MODE	運用モード設定	SP/SdP	SP	19

ファンクションメニュー(FUNC)



表示	設定項目	設定値	初期値	参照ページ
BLIT	バックライト動作設定	oFF/ACt/Any/on	ACt	26
CH---	チャンネル非表示設定	oFF/on	oFF	
BEEP	ビーブ音量設定	oFF/L/M/H	H	27
TONE	通話告知音設定	oFF/P-/r/P-r	P-r	
ANU	ボイスアナウンス設定	oFF/on	on	28
MINV	最小ボリューム設定	0 ~ 31	0	
MAXV	最大ボリューム設定	0 ~ 31	31	29
SQL	スケルチレベル設定	oFF/1/2/3	1	
MICS	マイク感度設定	n/H	H	30
CMPD	コンパンダー設定	oFF/on	oFF	
TXPW	送信パワー設定	L/H	H	31
TX-I	送信禁止設定	oFF/on	oFF	
VOX	VOXレベル設定	oFF/1/2/3/4/5	oFF	24
VOXD	VOX遅延時間設定	03/05/10/15/30	05	25
P-HD	PTTホールド設定	oFF/on	oFF	32
RETX	自動復帰設定	oFF/on	oFF	
BAND	オートチャンネルセレクト範囲設定	Sbd/ALL	ALL	21

キーメニュー(KEY)



表示	設定項目	設定値	初期値	参照ページ
PF1	プログラムキー 1 設定	oFF/mon/SCA/C31/C32/	CHd	34
PF2	プログラムキー 2 設定	SPA/CHU/CHd/SEL	CHU	
REM1	リモコンキー 1 設定	oFF/mon/SCA/C31/C32/	mon	
REM2	リモコンキー 2 設定	SPA/CHU/CHd/EmG/SEL/m1/	SCA	34
REM3	リモコンキー 3 設定	m2/m3	C31	

選択呼出しメニュー(SEL)



表示	設定項目	設定値	初期値	参照ページ
MYID	自局 ID 設定	oFF/IO ~ I99	oFF	36
ALL	全員呼出し設定	oFF/on	on	
GID	所属グループ呼出し設定	GID0 ~ GID9	GID0	37
ID	個別呼出し設定	ID0 ~ ID99	ID0	
P-ID	自局 ID 送信機能設定	oFF/on	oFF	38
SMUT	選択呼出しミュート設定	oFF/on	oFF	

エマージェンシーメニュー(EMER)



表示	設定項目	設定値	初期値	参照ページ
EMFC	エマージェンシー機能設定	oFF/on	on	45
EMAD	エマージェンシーオーディオ動作設定	SIL/ESP/AUd	AUd	
BGTX	バックグラウンドトーン設定	oFF/on	on	46
EMID	エマージェンシー通知先 ID 設定	oFF/ALL/GIO ~ GI9/I 0 ~ I99	oFF	

運用モードの設定

通信のしかたにより運用モードを設定してください。

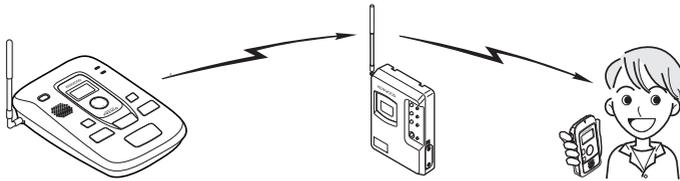
■ シンプルックスモード

レピーター(中継器)を介さずに直接トランシーバー同士で通信するモードです。



■ レピーターアクセスモード(セミデュプレックスモード)

レピーター(中継器)を介して通信するモードです。

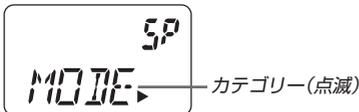


1 【**⏻**】を押し、一度電源をOFFにする

2 【**MENU**】を押しながら【**⏻**】を押し、電源をONする

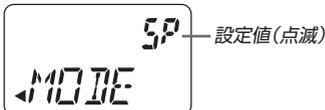
メニューカテゴリ選択画面が表示されます。

3 【**▲**】または【**▼**】を押しして「MODE」を選択する



4 【**▶**】を押し

設定変更画面になります。



5 【**▲**】または【**▼**】を押ししてモードを選択する

設定値	動作
SP	シンプルックスモードで通信します。
SdP	レピーターアクセスモードで通信します。

シンプルックスモード



レピーターアクセスモード



- レピーターアクセスモードに設定すると「中継」が表示されます。

6 【**▶**】を押し

設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

7 【**MENU**】を押し

メニューモードが終了します。

通信操作

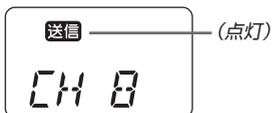
シンプルモード

シンプルモードで通信する場合は、直接相手呼び出して通話します。

- 双方のチャンネルやグループ番号を合わせておきます。

1 【PTT】を押しながら話す

「送信」が点灯し、送信状態になります。
 <送受信 LED は赤色に点灯します。>

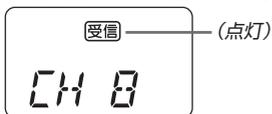


マイクロホン位置(MIC)に向かってお話しください。

2 話終わったら、【PTT】から指を離す

受信待受状態になります。

受信すると「受信」が点灯します。
 <送受信 LED は緑色に点灯します。>



3 【▲】【▼】を押して好みの音量に調整する

手順 1 と 2 の操作を繰り返して、通話します。

- ◆ 設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
- ◆ トランシーバー間の距離が近い(10 m 以内)と「h7 と 1」、「h8 と 2」、「h9 と 3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で運用する場合は、同一バンド(h1 ~ h9 または 1 ~ 11 チャンネル)内で運用するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

通話時間の制限について・・・

本機の 1 回の通信時間は、送信・受信を合わせて 3 分間です。通話終了の 30 秒前になると、表示部の数字が点滅しながらカウントダウンを始めます。10 秒前になると「ピッ」と予告音が鳴り、3 分を経過すると送信禁止音とともに送信を停止し、受信待受状態に戻ります。続けて通話するときは、送信停止 2 秒後に【PTT】を押して相手呼び出してください。

- レピーターアクセスモードで送信パワーをローに設定している場合は、通信時間の制限はありません。【送信パワー切り替え】▶ p.31

レピーターアクセスモード

レピーターアクセスモードで通信する場合は、最初にレピーターに接続してから、相手呼び出して通話します。

- 双方のチャンネルとグループ番号をレピーターのチャンネルとグループ番号に合わせておきます。

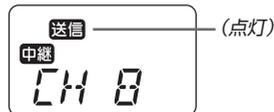
1 【PTT】を押し続ける

レピーターアクセスを確認します。

- アクセス音が鳴ったら【PTT】を押したままで、手順 2へ移ってください。
- エラー音(ピッピッ…)が鳴ったら手順 1 の操作を繰り返します。

2 【PTT】を押しながら話す

「送信」が点灯し、送信状態になります。
 <送受信 LED は赤色に点灯します。>



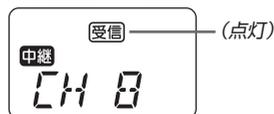
マイクロホン位置(MIC)に向かってお話しください。

- アクセスが外れたら、再度手順 1 から操作してください。

3 話終わったら、【PTT】から指を離す

受信待受状態になります。

受信すると「受信」が点灯します。
 <送受信 LED は緑色に点灯します。>



4 【▲】【▼】を押して好みの音量に調整する

手順 2 と 3 の操作を繰り返して、通話します。

残り時間(点滅)



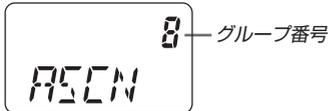
オートチャンネルセレクト

シンプレックスモードでの運用時に使用できる機能です。自動的にチャンネル内のスキャンを行い、グループ番号が一致したチャンネルを見つけるとそこで停止して受信を行う機能です。スキャン中に【PTT】を押して送信を行おうとすると、同じグループ番号の空いているチャンネルが設定され送信をおこないます。

- 《「キーメニュー」》 p.33》で予めオートチャンネルセレクト操作キー【SCA】をトランシーバー本体の【◀▶】キーやリモコンマイクロホンのリモコンキーに設定しておきます。
- グループ番号を設定しないと、オートチャンネルセレクト機能は動作しません。
- 選択呼出し機能がONの場合、オートチャンネルセレクト機能は動作しません。
- メモリーチャンネルのスキャンについては《「メモリースキャン」》 p.43》をご覧ください。

オートチャンネルセレクトを使う

- 1 【SCA】を設定したキーを1秒以上押す
「ASCN」と表示され、スキャンを開始します。



- 2 【PTT】を2～3秒押し続ける

空いているチャンネルで10秒ほど停止します。停止中に【PTT】を押したまま通常よりゆっくり呼びかけます。

呼びかけが終わったら【PTT】から指を離し、相手の方がそのチャンネルで応答してくれるのを待ちます。

- 3 「受信」が消えてから、【PTT】押して応答する

オートチャンネルセレクトを解除する

- 4 スキャン停止中に【PTT】(および【C31】/【C31】を設定したキー)以外のキーを押す

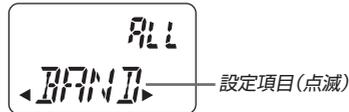
表示しているチャンネルで受信待受状態になります。

- ◆ 応答は10秒以内に行ってください。10秒以上送信・受信がないと、オートチャンネルセレクトを再開します。
- ◆ オートチャンネルセレクト中にモニター機能(▶ P.22)をONにするとスキャンが一時停止して、チャンネルをモニターできます。

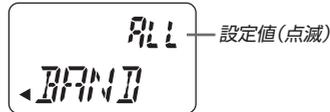
オートチャンネルセレクト範囲設定

スキャンするチャンネル範囲を設定します。

- 1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする
《「メニューの操作」》 p.16》
- 2 【▲】または【▼】を押して「BAND」を選択する



- 3 【▶】を押す
設定変更画面になります。



- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
Sbd	現在のバンド内のみスキャンします。
ALL	1ch～11chとh1ch～h9chの2つのバンドをスキャンします。

- 5 【▶】を押す
設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

モニター

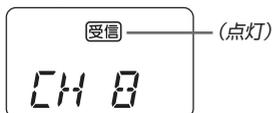
電波が弱いときに、スケルチを強制的に開き、信号の状態をモニターすることができます。また、音量を調整するときにも使用できます。

- 《「キーメニュー」》 p.33)で予めモニター操作キー [mon] をトランシーバー本体の【◀】【▶】キーやリモコンマイクロホンのリモコンキーに設定しておきます。

モニターする

1 [mon]を設定したキーを押す

押している間、スケルチが開いて「受信」が点灯します。



- 信号を受信していないときは「ザー」という雑音ができます。音量レベルを調整するときの目安にもできます。

モニターを解除する

2 [mon]を設定したキーを離す

スケルチが閉じて、「受信」が消灯します。



◆ モニター機能を ON するときは、音量レベルに注意してください。特にイヤホンを使用しているときは、「ザー」というノイズを大きい音量で聞くと耳に障害を受けることがあります。

音量アッテネート

スピーカーからの音声出力レベルを一時的に下げる機能です。

- 《「キーメニュー」》 p.33)で予め音量アッテネート操作キー [SPA] をトランシーバー本体の【◀】【▶】キーやリモコンマイクロホンのリモコンキーに設定しておきます。
- リモコンマイクロホンのリモコンキーに [SPA] を設定した場合は、音量アッテネート機能が優先されますので、ボイスメール機能(p.39)は使用できなくなります。

音声出力レベルを下げる

1 [SPA]を設定したキーを押す

「Att」と表示されスピーカーの音声レベルが下がります。



音声出力レベルを戻す

2 [SPA]を設定したキーを押す または【▲】または【▼】を押す

音量アッテネートが解除され、元の音声レベルに戻ります。



◆ 音量アッテネートを解除するときは、元の音量に注意してください。大音量で耳に障害を受けることがあります。

コールトーン呼出し

相手を電話の呼出音のような音(コールトーン)で呼び出すことができます。各コールトーンは、操作時に設定されている音色で鳴り、確認することができます。

コールトーン1で呼び出すとき

■【PTT】を押したまま【▼】を押す

押している間コールトーン1が送信されます。

コールトーン2で呼び出すとき

■【PTT】を押したまま【▲】を押す

押している間コールトーン2が送信されます。



- ◆ トランシーバー本体の《【<】【>】】キーまたは、オプションのリモコンマイクの【1】、【2】および【3】キーにもコールトーン(コールトーン3-1またはコールトーン3-2)を設定することができます。それらのキーを押すとコールトーンが送信されます。《「キーマニュー」》 p.33》
- ◆ レピーターアクセスの動作開始時は、レピーターアクセスが成功するまでコールトーンは送信されません。
- ◆ 選択呼出しでは、コールトーンを使用することはできません。
- ◆ キーロックが動作している間でもコールトーンを送信することができます。

キーロック

間違えてチャンネル番号やグループ番号を変えないように、キーをロックしておくことができます。

キーロックをする

1 一度電源をOFFにする

2 【▼】を押しながら、【⏻】を押して電源をONにする

キーロックが動作します。キーロック中は「」が点灯します。



キーロックを解除する

1 一度電源をOFFにする

2 【▼】を押しながら、【⏻】を押して電源をONにする

キーロックが解除され、「」が消灯します。

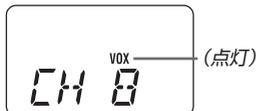
キーロック中でも下記のキー操作はできます。

- 【⏻】キー(電源ON/OFF)
 - 【⏻】+【MENU】キー(メニューモード)
 - 【⏻】+【▼】キー(キーロック解除)
 - 【⏻】+【PTT】+【MENU】キー(オールリセット)
 - 【PTT】キー(送信)
 - 【EMG】キー(エマージェンシー送信)
 - 【▲】、【▼】キー(音量調整)
 - 【PTT】+【▼】キー(コールトーン1送出)
 - 【PTT】+【▲】キー(コールトーン2送出)
 - 【C31】キー(コールトーン3-1送出)
 - 【C32】キー(コールトーン3-2送出)
 - 【mon】キー(モニター)
- (【C31】、【C32】、【mon】はキーマニューにて機能を設定してあるキーです。《「キーマニュー」》 p.33》

VOX機能

【PTT】を押さなくても、VOX 対応オプションのマイクに向かって話すだけで自動送信されます。話をやめると自動で受信待受状態になります。VOX 機能が ON になると「VOX」が点灯します。

- VOX 送信中に【▲】/【▼】で VOX レベル変更することもできます(OFF にはできません)。



- ◆ VOX 機能を使用する場合は対応するオプションを使用してください。(47 ページの「オプション一覧」で < VOX 対応 > と記載されている製品)
- ◆ HMC-3(G) や HMC-4(G) のように VOX 機能が内蔵されているオプションを使用するときに、オプションの VOX 機能を使用するときは、トランシーバーの VOX 機能を OFF にしてください。トランシーバーの VOX 機能を使用するときは HMC-3(G) や HMC-4(G) の VOX 機能を OFF、感度調整ボリュームは最小にしてください。
- ◆ VOX 機能は確認音が鳴っているとき、コールトーンが設定されているとき、およびスケルチが開いているときは使用できません。
- ◆ 信号を受信しているときは、送信できません。
- ◆ 本機単体でも VOX 機能は動作しますが、周囲の音で誤送信することがあります。オプションを接続してください。

VOXレベル設定

周りの環境や声の大きさによって、VOX 機能使用時のヘッドセットなどのマイクが感知する音声レベルを設定できます。声に合わせてスムーズに送受信が切り替わるように設定してください。

- 1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする

《「メニューの操作」▶ p.16》

- 2 【▲】または【▼】を押して「VOX」を選択する



- 3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
OFF(OFF)	VOX 機能は OFF になります。
1 ~ 5	VOX 機能が ON になり、数値が大きいほどマイクの感度が上がります。

- 5 【▶】を押す

設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

VOX遅延時間設定

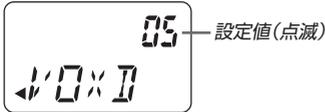
VOX機能使用時に音声の最後が送信されない場合があります。このような場合は0.3秒(03)から3.0秒(30)の遅延時間を設定すると、話をやめた後設定した時間は送信を継続するため音声途切れることを防ぐことができます。

1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする
《「メニューの操作」▶ p.16》

2 【▲】または【▼】を押して「VOXD」を選択する



3 【▶】を押す
設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
03/05/ 10/15/ 30	数字が大きいくほど遅延時間が長くなります。

5 【▶】を押す
設定を確認して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

その他のファンクションメニュー設定

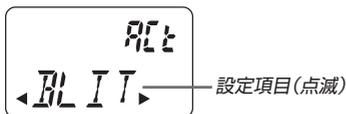
表示に関する設定

バックライト動作設定

表示部照明の点灯条件を設定します。

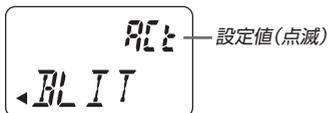
- 1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする
《「メニューの操作」▶ p.16》

- 2 【▲】または【▼】を押して「BLIT」を選択する



- 3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
OFF	バックライトは常に消灯します。
Act	【PTT】以外のキーを操作したときにバックライトが5秒間点灯します。
Any	キーを操作したときや信号を受信するとバックライトが5秒間点灯します。
on(ON)	バックライトが常に点灯します。

- 5 【▶】を押す

設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

チャンネル非表示設定

チャンネル番号やグループ番号を表示させない設定です。

- この機能を「on(ON)」に設定している場合は、【CHU】/【CHd】を押してチャンネルを切り替えると、2秒間切り替えたチャンネルを表示した後表示が消えます。

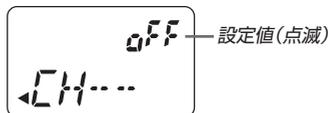
- 1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする
《「メニューの操作」▶ p.16》

- 2 【▲】または【▼】を押して「CH--」を選択する



- 3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
off(OFF)	チャンネルを表示します。
on(ON)	チャンネルが非表示になります。

- 5 【▶】を押す

設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

音に関する設定

ビーブ音量設定

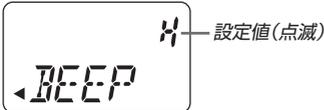
キーを操作したときに鳴る確認音をビーブ音と
いいます。この機能を「OFF」に設定すると、こ
のビーブ音を鳴らさないようにできます。また、
ビーブ音の音量を大中小に設定ができます。

- 1 ファンクション(FUNC)メニューの
設定項目選択画面にする
《「メニューの操作」▶ p.16》

- 2 【▲】または【▼】を押して「BEEP」を
選択する



- 3 【▶】を押す
設定変更画面になります。



- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選
択する

設定値	動作
oFF(OFF)	ビーブ音は鳴りません。
L	ビーブ音量小
M	ビーブ音量中
H	ビーブ音量大

- 5 【▶】を押す
設定を確定して、ファンクションメニュー
の設定項目選択画面に戻ります。

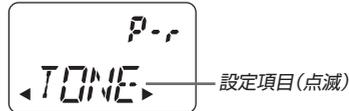
-  ◆ 以下の警告音、予告音などは「OFF」に
設定しても鳴ります。
- ・ バッテリー警告音
 - ・ 通信時間制限予告音
 - ・ APO 警告音
 - ・ 通話範囲外告知音
 - ・ 送信禁止音
 - ・ コールトーン
 - ・ エマージェンシートーン
 - ・ PLL アンロック音

通話告知音設定

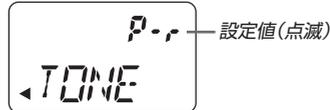
通話開始時に告知音を鳴らし、マイクに話すタ
イミングをとって受信音声の頭切れを防ぎま
す。また、通話終了時に告知音を鳴らし、通話
終了を知らせる機能です。

- 1 ファンクション(FUNC)メニューの
設定項目選択画面にする
《「メニューの操作」▶ p.16》

- 2 【▲】または【▼】を押して「TONE」を
選択する



- 3 【▶】を押す
設定変更画面になります。



- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選
択する

設定値	動作
oFF(OFF)	告知音は鳴りません。
P-	通話開始時のみ告知音(プロ シードトーン)を鳴らします。
- r	通話終了時のみ告知音(リ リーストーン)を鳴らします。
P-r	通話開始時と通話終了時に告 知音を鳴らします。

- 5 【▶】を押す
設定を確定して、ファンクションメニュー
の設定項目選択画面に戻ります。

-  ◆ プロシードトーン/リーストーン音量
は、「ビーブ音量」の設定に連動します。
- ◆ リリーストーンは相手にも聞こえます。
 - ◆ セレコール呼出しの場合は、「プロシード
トーン」の代わりに「セレコールト
ーン」または「グループコールトーン」
が出力されます。

ボイスアナウンス設定

チャンネル選択時のボイスアナウンス機能を使用するかしないかを設定します。

1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする

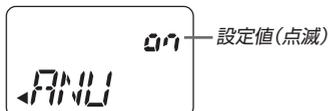
《「メニューの操作」▶ p.16》

2 【▲】または【▼】を押して「ANU」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF(OFF)	アナウンスしません。
on(ON)	チャンネル選択時にチャンネル番号をアナウンスします。

- 音声アナウンスの音量は、ボリュームの音量に連動します。

5 【▶】を押す

設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

最小ボリューム設定

音量の最小値を設定できます。例えば、最小値を普段聞いている音量レベルに設定すると、VOL キーを誤操作しても普段聞いている音量レベルより下がらないため、相手からの呼び出し音声などを聞き逃すことを防止できます。

1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする

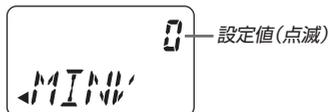
《「メニューの操作」▶ p.16》

2 【▲】または【▼】を押して「MINV」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
0 ~ 31	数値が大きいかほど音量が大きくなります。

- 「最大ボリューム設定」を超える値は設定できません。

5 【▶】を押す

設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

最大ボリューム設定

音量の最大値を設定できます。音量を最大にしても、大音量にならないように音量レベルを設定します。イヤホンやヘッドセットで使用するときに、大音量で耳を傷めることを防止できます。

- 最小と最大ボリュームの値を同じにすると、常に同一の音量レベルになります。

1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする

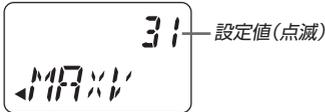
《「メニューの操作」▶ p.16》

2 【▲】または【▼】を押して「MAXV」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
0～31	数値が大きいくほど音量が大きくなります。

- 「最小ボリューム設定」より低い値は設定できません。

5 【▶】を押す

設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

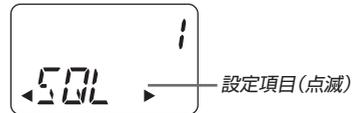
スケルチレベル設定

スケルチ(雑音消去回路)が解除(開く)されるレベルを設定します。スケルチレベルを下げると弱い電波でも受信しやすくなりますが、雑音(“ザー”という雑音)が多くなります。逆に、スケルチレベルを上げると雑音は少なくなります。強い電波しか受信しなくなります。

1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする

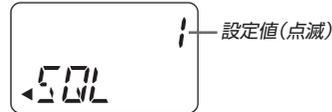
《「メニューの操作」▶ p.16》

2 【▲】または【▼】を押して「SQL」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF(OFF)	常に受信状態になります(常時モニター)。
1/2/3	数値を下げると、弱い信号でも受信状態になります。数値を上げると、強い信号のみ受信状態になります。

5 【▶】を押す

設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

送信に関する設定

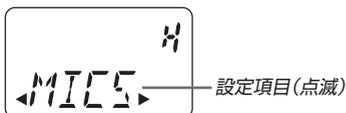
マイク感度設定

送信音声が大きすぎるときは、「n(N)」に設定すると、マイクの感度を低くすることができます。

- 1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする

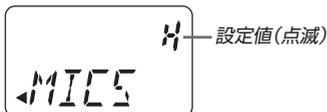
《「メニューの操作」▶ p.16》

- 2 【▲】または【▼】を押して「MICS」を選択する



- 3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
n(N)	通常のマイク感度にします。
H	マイク感度を高くします。

- 5 【▶】を押す

設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

コンパンダー設定

雑音を抑えて、音声のみを明瞭にする機能です。使用する場所の周りが騒がしく、音声聞き取りにくい場合に設定します。この機能を使用するには、送信局側と受信局側双方がこの機能を設定する必要があります。

- 1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする

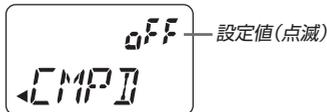
《「メニューの操作」▶ p.16》

- 2 【▲】または【▼】を押して「CMPD」を選択する



- 3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF(OFF)	コンパンダーは動作しません。
on(ON)	コンパンダーが動作します。

- 5 【▶】を押す

設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

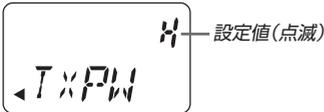
送信パワー設定

レピーターアクセスモードの1ch～18chバンドでは、送信出力を下げて連続送信することができます。「L」に設定すると送信がローパワーの約1mWになり、「H」に設定に戻すと送信がハイパワーの約10mWになります。

- 1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする
《「メニューの操作」▶ p.16》
- 2 【▲】または【▼】を押して「TXPW」を選択する



- 3 【▶】を押す
設定変更画面になります。



- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
H	送信出力を約10mWにします。
L	送信出力を約1mWにします。

- 5 【▶】を押す
設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。



◆ レピーターアクセスモードのh1ch～h9chやシンプレックスモードでは送信出力を下げることはできません。

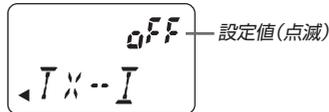
送信禁止設定

トランシーバーを受信専用で使用するときには誤って【PTT】を押しても送信させない設定です。

- 1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする
《「メニューの操作」▶ p.16》
- 2 【▲】または【▼】を押して「TX-I」を選択する



- 3 【▶】を押す
設定変更画面になります。



- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF(OFF)	送信動作を許可します。
on(ON)	送信動作を禁止します。

- 5 【▶】を押す
設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

PTTホールド設定

通常は送信するときは【PTT】キーを押し続けませんが、本機能を「on(ON)」に設定すると、【PTT】キーを一度押せば【PTT】キーを離しても送信が継続します。送信を止めるときはもう一度【PTT】キーを押します。

1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする

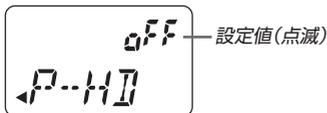
《「メニューの操作」▶ p.16》

2 【▲】または【▼】を押して「P-HD」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF(OFF)	【PTT】キーを押し続けると送信状態になり、【PTT】キーを離すと信号待ち受け状態になります。
on(ON)	【PTT】キーを押すと送信状態が継続され、再度【PTT】キーを押すと受信待ち受け状態になります。

5 【▶】を押す

設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

自動復帰設定

「PTT ホールド」が「on(ON)」に設定されている場合、タイムアウトタイム (TOT) 経過により通信が終了しても、送信休止時間(2秒)後に自動で送信を再開する機能です。

1 ファンクション(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする

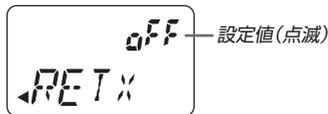
《「メニューの操作」▶ p.16》

2 【▲】または【▼】を押して「RETX」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF(OFF)	自動で送信は再開しません。
on(ON)	自動で送信を再開します。

5 【▶】を押す

設定を確定して、ファンクションメニューの設定項目選択画面に戻ります。

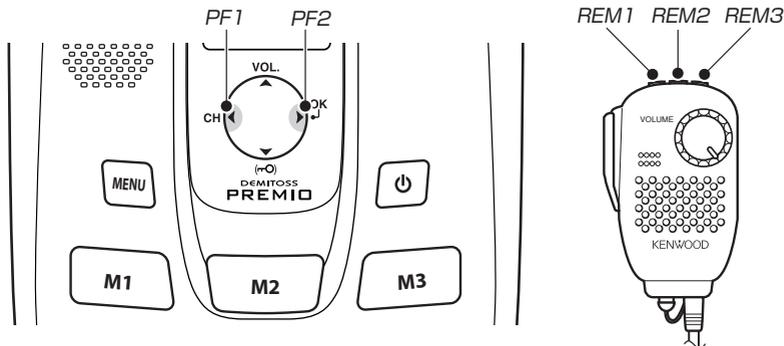
- ◆ 送信休止時間経過後、使用チャンネルに受信信号がある場合は送信は再開しません。
- ◆ レピーターアクセスモードで自動復帰する場合は、送信休止時間経過後に再度レピーターにアクセスをします。

キーメニュー設定

キーメニュー

トランシーバー本体の【◀】、【▶】キー、およびリモコンマイクロホンのリモコンキーに機能を設定するためのメニューです。

トランシーバー本体の【◀】(PF1)キーと【▶】(PF2)キー、およびオプションのSMC-34などのリモコンキー(【1】(REM1)、【2】(REM2)、【3】(REM3))に機能を設定することができます。



トランシーバー本体のキーとリモコンキー共通に設定できる機能

設定値	動作	参照ページ
oFF(OFF)	機能を設定しません	—
mon	モニター< REM1 の初期値>	22
SCA	オートチャンネルセレクト/メモリスキャン< REM2 の初期値>	21、43
C31	コールトーン 3-1 の送出< REM3 の初期値>	23
C32	コールトーン 3-2 の送出	
SPA	音量アッテネート	22
CHU	チャンネル・アップ< PF2 の初期値>	
CHd	チャンネル・ダウン< PF1 の初期値>	13
SEL	選択呼出しリスト表示	39

リモコンキーのみに設定できる機能

設定値	動作	参照ページ
EmG	エマージェンシー送信	44
m1	メモリーチャンネル 1 の設定/呼出	
m2	メモリーチャンネル 2 の設定/呼出	42、43
m3	メモリーチャンネル 3 の設定/呼出	

トランシーバー本体キーの設定

- 1** キー(KEY)メニューの設定項目選択画面にする

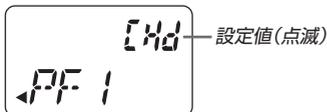
《「メニューの操作」▶ p.16》

- 2** 【▲】または【▼】を押して「PF1」または「PF2」を選択する



- 3** 【▶】を押す

設定変更画面になります。



- 4** 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF(OFF)	機能を設定しません
mon	モニター
SCA	オートチャンネルセレクト / メモリスキャン
C31	コールトーン 3-1 の送出
C32	コールトーン 3-2 の送出
SPA	音量アッテネート
CHU	チャンネル・アップ
CHd	チャンネル・ダウン
SEL	選択呼出しリスト表示

- 5** 【▶】を押す

設定を確定して、キーメニューの設定項目選択画面に戻ります。

リモコンキーの設定

- 1** キー(KEY)メニューの設定項目選択画面にする

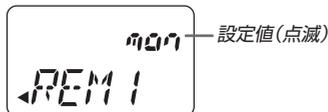
《「メニューの操作」▶ p.16》

- 2** 【▲】または【▼】を押して「REM1」、「REM2」または「REM3」を選択する



- 3** 【▶】を押す

設定変更画面になります。



- 4** 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF(OFF)	機能を設定しません
mon	モニター
SCA	オートチャンネルセレクト / メモリスキャン
C31	コールトーン 3-1 の送出
C32	コールトーン 3-2 の送出
SPA	音量アッテネート
CHU	チャンネル・アップ
CHd	チャンネル・ダウン
EmG	エマージェンシー送信
SEL	選択呼出しリスト表示
m1	メモリーチャンネル 1 の設定 / 呼出
m2	メモリーチャンネル 2 の設定 / 呼出
m3	メモリーチャンネル 3 の設定 / 呼出

- 5** 【▶】を押す

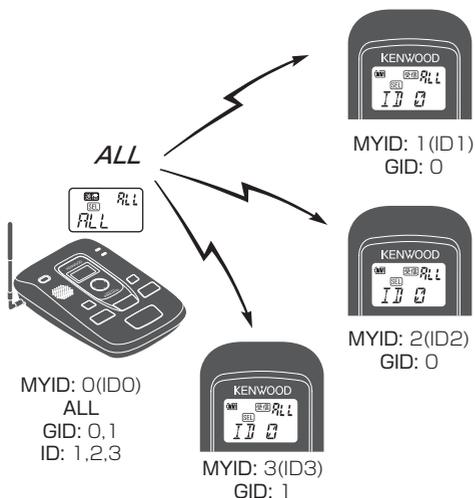
設定を確定して、キーメニューの設定項目選択画面に戻ります。

選択呼出し機能

選択呼出し機能を使用すると、チャンネル番号やグループ番号が同じでも、全員、所属グループ、または個別と選択して呼出すことができます。また、ステータスメッセージを使用することもできます。選択呼出し機能が ON の場合 (自局 ID が設定されている) は「SEL」が点灯します。

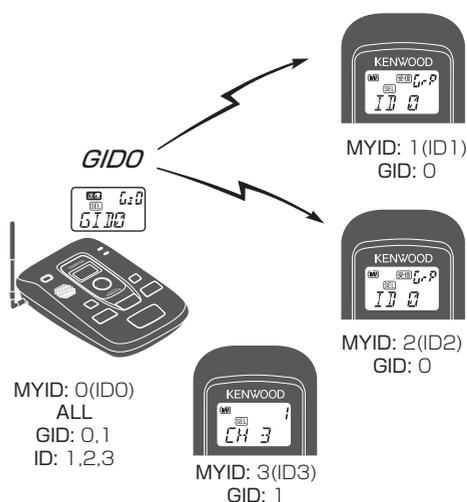
■ 全員呼出し (ALL)

全員と通話することができます。全員に指示をしたいときなどに使用します。



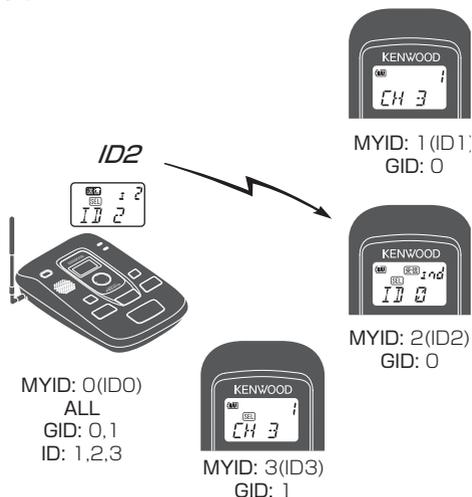
■ 所属グループ呼出し (GIDO ~ GID9)

グループ内のみ通話できます。所属フロア内の担当者のみへの連絡など、選択したグループIDの全トランシーバーを呼出します。



■ 個別呼出し (IDO ~ ID99)

特定の相手と通話することができます。フロアの責任者のみへの連絡など、選択した個別 ID のトランシーバーを呼出します。



選択呼出し機能の設定

自局ID設定

自局(トランシーバ本体)のID番号を設定します。

- 自局のID番号は他のトランシーバーと重複しないように設定してください。
- 自局ID番号を設定しないと、選択呼出し機能は使用できません。

1 選択呼出し(SEL)メニューの設定項目選択画面にする

《「メニューの操作」▶ p.16》

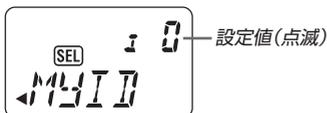
2 【▲】または【▼】を押して「MYID」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。

4 【▲】または【▼】を押して、ID番号を選ぶ



設定値	動作
oFF(OFF)	選択呼出し機能は動作しません。
10～199	選択した番号が自局IDになります。

- 自局のID番号を選択すると「SEL」が表示されます。

5 【▶】を押す

設定を確定して、選択呼出しメニューの設定項目選択画面に戻ります。

全員呼出し設定

選択呼出しリストに「全員呼出し」を登録する設定をします。

1 選択呼出し(SEL)メニューの設定項目選択画面にする

《「メニューの操作」▶ p.16》

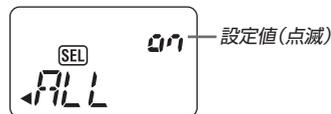
2 【▲】または【▼】を押して「ALL」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。

4 【▲】または【▼】を押して、ON/OFFを選ぶ



設定値	動作
oFF(OFF)	選択呼出しリストから「全員呼出し」を削除します。
on(ON)	選択呼出しリストに「全員呼出し」が登録されます。

5 【▶】を押す

設定を確定して、選択呼出しメニューの設定項目選択画面に戻ります。

 ◆ TCP-U80/TCP-U90F との互換
ID(ALL)はID(ALL-ALL)に対応しています。

所属グループ呼出し設定

選択呼出しリストに入れる所属グループの ID を設定します。

- 1 選択呼出し (SEL) メニューの設定項目選択画面にする

《「メニューの操作」▶ p.16》

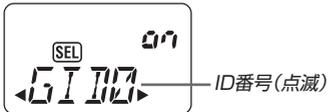
- 2 【▲】または【▼】を押して「GID」を選択する



- 3 【▶】を押す

設定変更画面になります。

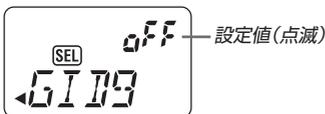
- 4 【▲】または【▼】を押して、所属グループ ID (GID0～GID9) を選択する



- 5 【▶】を押す

設定変更画面になります。

- 6 【▲】または【▼】を押して、ON/OFF を選択する



設定値	動作
oFF(OFF)	選択したグループ ID を呼出しリストから削除します。
on(ON)	選択したグループ ID が呼出しリストに登録されます。

- 7 【▶】を押す

設定を確定して、選択呼出しメニューの設定項目選択画面に戻ります。

◆ TCP-U80/TCP-U90F との互換
ID (GID0～GID9) は ID (100-4000～100-4009) に対応しています。

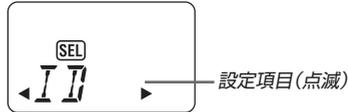
個別呼出し設定

選択呼出しリストに入れる個別呼出しの ID を設定します。

- 1 選択呼出し (SEL) メニューの設定項目選択画面にする

《「メニューの操作」▶ p.16》

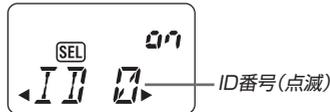
- 2 【▲】または【▼】を押して「ID」を選択する



- 3 【▶】を押す

設定変更画面になります。

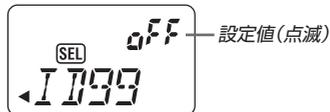
- 4 【▲】または【▼】を押して、個別 ID (ID0～ID99) を選択する



- 5 【▶】を押す

設定変更画面になります。

- 6 【▲】または【▼】を押して、ON/OFF を選択する



設定値	動作
oFF(OFF)	選択した個別 ID を呼出しリストから削除します。
on(ON)	選択した個別 ID が呼出しリストに登録されます。

- 7 【▶】を押す

設定を確定して、選択呼出しメニューの設定項目選択画面に戻ります。

◆ TCP-U80/TCP-U90F との互換
ID (ID0～ID99) は ID (100-1000～100-1099) に対応しています。

自局ID送信機能設定

送信信号にトランシーバーのIDを付加する機能です。IDを付加すると受信側は誰のトランシーバーから送信されているか知ることができます。

1 選択呼出し(SEL)メニューの設定項目選択画面にする

《「メニューの操作」▶ p.16》

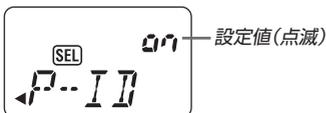
2 【▲】または【▼】を押して「P-ID」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。

4 【▲】または【▼】を押して、ON/OFFを選ぶ



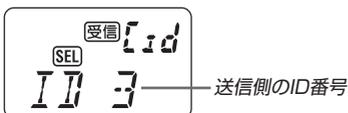
設定値	動作
oFF(OFF)	自局IDを付加せずに送信します。
on(ON)	自局IDを付加して送信します。

5 【▶】を押す

設定を確定して、選択呼出しメニューの設定項目選択画面に戻ります。

◆ 自局IDは【PTT】が押された場合のみ、送信に付加されます。

- IDが付加された信号を受信すると下記の表示になり、何かキーを操作すると元の画面に戻ります。



選択呼出しミュート設定

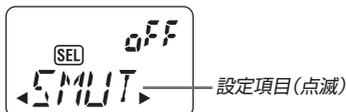
自分に対しての呼び出し以外はミュートする機能です。自分以外への個別呼び出しや所属していないグループへの呼び出しなどをミュートします。

- 一斉呼び出しはリストに登録されていなくてもミュートしません。

1 選択呼出し(SEL)メニューの設定項目選択画面にする

《「メニューの操作」▶ p.16》

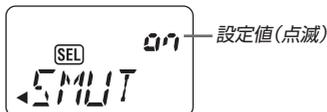
2 【▲】または【▼】を押して「SMUT」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。

4 【▲】または【▼】を押して、ON/OFFを選ぶ



設定値	動作
oFF(OFF)	選択呼出しリストに無いIDの呼出しでも音声を出力します。
on(ON)	選択呼出しリストに無いIDの呼出しには音声を出力しません。

5 【▶】を押す

設定を確定して、選択呼出しメニューの設定項目選択画面に戻ります。

◆ この機能をONにすると、選択呼出し以外で自分を呼出された場合も音声はミュートされます。

選択呼出しの操作

相手呼び出す

1 【MENU】を1秒以上押す

ID リストが表示されます。

2 【▲】または【▼】を押して、リストを選ぶ

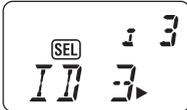
全員を呼出すときは「ALL」を選択します。



所属グループを呼出すときは「GrP」の呼出したい番号を選択します。



個別に相手を呼出すときは「ID」の呼出したい番号を選択します。



3 【PTT】を押す

呼出しが開始されます。

- 自局 ID を選択した場合は、「mid」と表示され、送信禁止になります。



選択呼出しIDを受信すると

1 呼出し音が鳴る

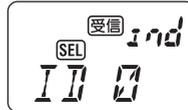
一斉呼出しを受けた側は「ALL」と表示され、呼出し側の ID が表示されます。



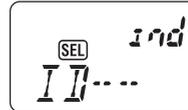
所属グループ呼出しを受けた側は「GrP」と表示され、呼出し側の ID が表示されます。



個別呼出しを受けた側は「Ind」と表示され、呼出し側の ID が表示されます。



- 個別呼出し設定に登録されていない ID からの呼び出しを受信した場合は下記の表示になります。



2 【PTT】を押して応答する

ボイスメールで返答する

呼出しに対応できない場合に【M1】【M2】【M3】に登録されている音声で返答できます。

呼出し側のID が表示されている間に、【M1】【M2】【M3】を押す

押すキーにより下記の音声で返答します。

【M1】：「はい」

【M2】：「おまちください」

【M3】：「いいえ」

- リモコンマイクロホンの【REM1】【REM2】【REM3】キーでも動作します。(ただし【EmG】や【SPA】が設定されているキーの場合は動作しません。)

ステータスメッセージ

選択呼出し時にステータス番号 1 ～ 8 までのメッセージ送ることができます。

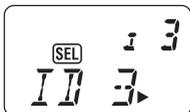
ステータス番号	メッセージ	ステータス番号	メッセージ
St1	YES	St5	GO
St2	NO	St6	STOP
St3	OK	St7	WAIT
St4	NG	St8	HELP

ステータスメッセージを送る

1 【MENU】を1秒以上押す

ID リストが表示されます。

2 【▲】または【▼】を押して、呼出したい個別IDを選択する



3 【▶】を押す

ステータスリストが表示されます。



- ステータスリストは前回使用したステータス番号から表示されます。

4 【▲】または【▼】を押して、送りたいステータスメッセージを選択する



5 【PTT】を押す

「SEND」と表示してメッセージの送信を開始します。



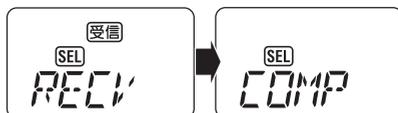
メッセージが相手に届いたときは「COMP」と表示されます。



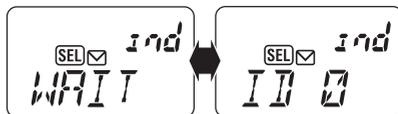
- 3回リトライしても相手に届かない場合は「FAIL」と表示されます。(全員呼出し・所属グループ呼出しでステータスメッセージを送信したときは、相手に届いていない場合でも「FAIL」は表示されません。)
- レピーターアクセスモードでレピーターのアクセスに失敗した場合は「BUSY」と表示されます。

ステータスメッセージを受信したら

1 「RECV」と表示し、メッセージの受信が完了すると「COMP」と表示されます



2 「COMP」を1秒間表示した後、受信したメッセージと「☑」が表示されます



- メッセージと送信者のIDを交互に2秒間隔で表示します。

3 【MENU】を1秒以上押す

チャンネル表示に戻ります。

- 【MENU】を押さなくても10秒後(モードリセットタイマー)にチャンネル表示に戻ります。

メモリーチャンネル

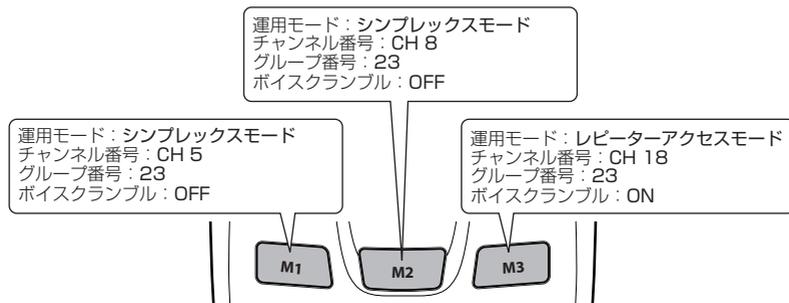
メモリーチャンネルの使いかた

運用モード、チャンネル番号、グループ番号、ボイススクランブル設定、および呼出し ID を【M1】、【M2】、【M3】のメモリーチャンネルキーに登録して、ワンタッチで選択して使用できます。

■ 使いかた例 1

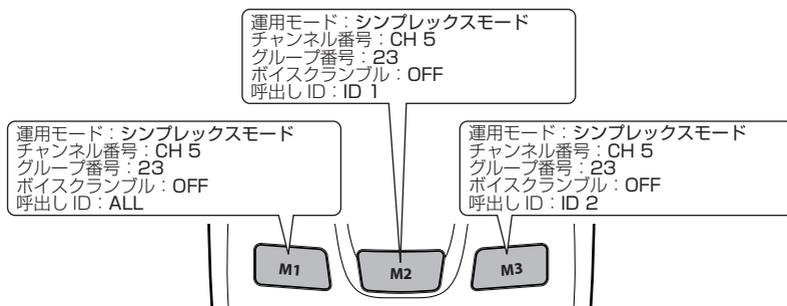
例えばフロアA、フロアB、フロアC(中継器を必要とする大フロア)にてフロアごとの連絡用としてする場合など、【M1】、【M2】、【M3】のメモリーチャンネルキーにフロアごとの運用モード、チャンネル番号、グループ番号、ボイススクランブル設定を登録しておき、ワンタッチで各フロアの設定を選択して通話することができます。

また、メモリースキャン機能を使用すると、フロアA、フロアB、フロアCからの信号を常に待受けすることができます。



■ 使いかた例 2

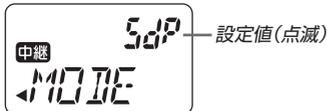
選択呼出し機能を使用する例です。運用モード、チャンネル番号、グループ番号、ボイススクランブル設定を同じにして、異なる呼出し ID を【M1】、【M2】、【M3】のメモリーチャンネルキーに登録しておき、ワンタッチで呼出し ID を選択して通話することができます。



メモリーチャンネルの登録

1 モード(MODE)メニューの設定で運用モードを選択する

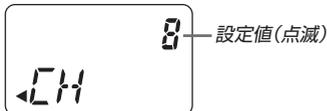
《「運用モードの設定」▶ p.23》



設定値	動作
SP	シンプレックスモードで通信します。
SdP	レピーターアクセスモードで通信します。

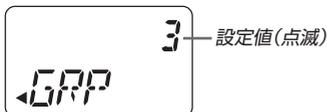
2 簡易メニューでチャンネル番号を選択する

《「簡易メニュー」▶ p.18》



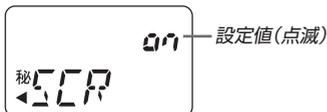
3 簡易メニューでグループ番号を選択する

《「簡易メニュー」▶ p.18》



4 簡易メニューでボイススクランブルのON/OFFを選択する

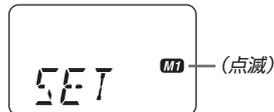
《「簡易メニュー」▶ p.18》



5 登録したい【M1】、【M2】または【M3】を1秒以上押す

「SET」と表示され、押したキーの番号が点滅します。

＜例：【M1】を押したとき＞



6 【▶】を押す

現在の設定内容が登録されます。

選択呼出しIDを登録する場合

メモリーチャンネルキーに選択呼出しIDを登録するときは、選択呼出し機能をON(自局IDを登録)にして、選択呼出しリストを設定しておきます。《「選択呼出し機能」▶ p.35》

1 【MENU】を1秒以上押す

選択呼出しIDリストが表示されます。

2 【▲】または【▼】を押して、選択呼出しIDを選ぶ

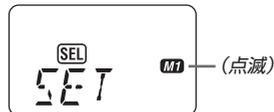
＜例：「ALL」を選択したとき＞



3 登録したい【M1】、【M2】または【M3】を1秒以上押す

「SET」と表示され、押したキーの番号が点滅します。

＜例：【M1】を押したとき＞



4 【▶】を押す

選択呼出しIDが登録されます。

- 現在のチャンネル番号やグループ番号、ボイススクランブルの設定なども登録されます。
- ステータスメッセージも同じ手順で登録できます。

メモリーチャンネルの呼出し

異なるチャンネルやグループ番号を登録している場合

- 1 呼出したいキー【M1】、【M2】または【M3】を押す

メモリーチャンネルに移行し、登録された設定が表示されます。



- 2 【PTT】を押して相手を呼出す

メモリーチャンネルの解除

- 【MENU】を押す

メモリーチャンネルを解除して、元のチャンネルに戻ります。

異なる選択呼出しIDを登録している場合

- 1 呼出したいキー【M1】、【M2】または【M3】を押す

メモリーチャンネルに移行し、登録されている選択呼出しの設定が表示されます。



- 2 【PTT】を押して相手を呼出す

登録されている選択呼出しIDで送信します。

メモリーチャンネルの解除

- 【MENU】を2回押す

メモリーチャンネルを解除して、元のチャンネルに戻ります。

メモリースキャン

メモリーチャンネル登録が行われているメモリーのスキャンを行います。

- 選択呼出しリストやステータスリストを表示中はメモリースキャンは動作しません。

メモリースキャンを開始する

- 1 メモリーチャンネルを呼出し状態で、【SCA】を設定したキーを1秒以上押す



一致する信号が見つかったら、スキャンを停止して、受信中はチャンネル表示が点滅します。



- メモリースキャン動作中に【PTT】が押されると、最後に呼び出されたチャンネルで送信します。

メモリースキャンを解除する

- 2 【SCA】を設定したキーを押す

- 【PTT】や【C31】、【C31】の送信動作するキー以外のキーを押すとメモリースキャンは解除されます。

エマージェンシー機能

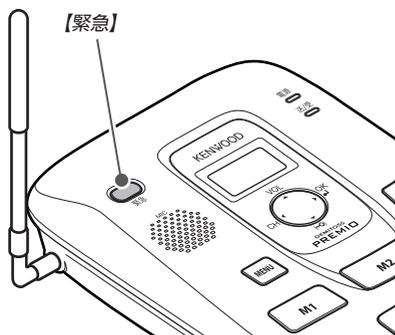
エマージェンシー操作

緊急時に【緊急】(オレンジ色のキー)を押して、自分が緊急状態であることを通知機能です。

- この機能はコントロールマイクロホンのリモコンキーにも設定することができます。

エマージェンシー動作を開始する

1 【緊急】を2秒以上押し続ける



エマージェンシートーンが鳴り、現在のチャンネルでエマージェンシー動作を開始します。



- エマージェンシー動作は、送信 20 秒、受信待ち状態 40 秒を繰り返します。
- エマージェンシー送信中はマイク感度を下げた設定になっていても、自動でマイク感度を上げて送信音声を大きくします。
- バックグラウンドトーン設定が「on(ON)」のときは送信音声にバックグラウンドトーンを加えて送信します。
- エマージェンシー動作中は、【P】、【PTT】、【▲】、【▼】以外のキーは動作しません。

エマージェンシー動作を解除する

2 【緊急】を2秒以上押し続ける

エマージェンシー動作が解除されます。

- 電源を OFF にするとエマージェンシー動作は解除されます。

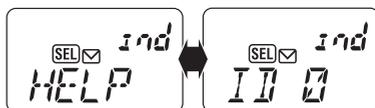
エマージェンシーを受信したら

- 送信している側のバックグラウンドトーン設定が「ON(on)」のときは送信者の音声と共にバックグラウンドトーンが鳴ります。



特定の相手に対する通知

- 選択呼出し機能を使用しているときは、エマージェンシー通知先 ID を設定して、特定の相手に緊急事態を伝えることもできます。
- エマージェンシーを受信するとメッセージと送信している側の ID 番号と「☑」が表示されます。



- ◆ エマージェンシー動作を繰り返す際、エマージェンシー再送信前にエマージェンシートーンを5秒間出力します。(【PTT】押しで送受信を切り替えたときはエマージェンシートーンは出力されません。)
- ◆ エマージェンシー送信開始時にチャンネルが使用されている(「受信」が表示されているとき)場合は、チャンネルが空いたときにエマージェンシー送信を開始します。
- ◆ レピーターアクセスモードの場合は、受信待ち状態から送信に戻ったときに再度レピーターにアクセスをおこないます。但し、アクセス状態が維持されている場合、アクセスはおこないません。

エマージェンシーメニュー

エマージェンシー機能を設定するためのモードです。

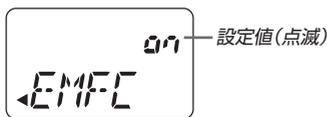
エマージェンシー機能設定

エマージェンシー機能を使用しない場合は機能を解除することができます。

- 1 エマージェンシー(EMER)メニューの設定項目選択画面にする

《「メニューの操作」▶ p.16》

- 2 【▲】または【▼】を押して「EMFC」を選択する



- 3 【▶】を押す

設定変更画面になります。

- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定	動作
oFF(OFF)	【緊急】を押してもエマージェンシー機能は動作しません。
on(ON)	【緊急】を押すとエマージェンシー機能が動作をします。

- 5 【▶】を押す

設定を確定して、エマージェンシーメニューの設定項目選択画面に戻ります。

エマージェンシーオーディオ動作設定

自分の周りの人にエマージェンシー機能が動作している事を知られたくないときに、エマージェンシートーンを出力する方法を選択します。

- 1 エマージェンシー(EMER)メニューの設定項目選択画面にする

《「メニューの操作」▶ p.16》

- 2 【▲】または【▼】を押して「EMAD」を選択する



- 3 【▶】を押す

設定変更画面になります。

- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定	動作
SIL	エマージェンシー動作時、内蔵と外部スピーカーどちらからも音声は出力されません。
ESP	エマージェンシー動作時、外部スピーカーからのみ音声出力されます。
AUd	エマージェンシー動作時、内蔵と外部スピーカー両方から音声出力されます。

- 5 【▶】を押す

設定を確定して、エマージェンシーメニューの設定項目選択画面に戻ります。

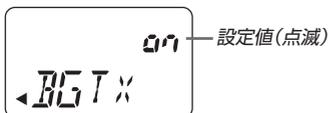
バックグラウンドトーン設定

エマージェンシー送信中にバックグラウンドトーンを付加して、エマージェンシー動作中であることを示す機能です。通常の送信とエマージェンシー送信を判別したいときに使用します。この機能を「on(ON)」にするとエマージェンシー送信時に1秒間隔で送信音声にバックグラウンドトーンを付加します。

1 エマージェンシー(EMER)メニューの設定項目選択画面にする

《「メニューの操作」▶ p.16》

2 【▲】または【▼】を押して「BGTX」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。

4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定	動作
oFF(OFF)	エマージェンシー送信中にバックグラウンドトーン付加しません。
on(ON)	エマージェンシー送信中にバックグラウンドトーン付加します。

5 【▶】を押す

設定を確定して、エマージェンシーメニューの設定項目選択画面に戻ります。

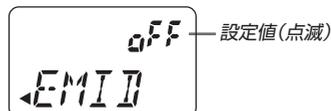
エマージェンシー通知先ID設定

選択呼出し機能を利用して、特定の相手にエマージェンシー状態を通知する機能です。

1 エマージェンシー(EMER)メニューの設定項目選択画面にする

《「メニューの操作」▶ p.16》

2 【▲】または【▼】を押して「EMID」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。

4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定	動作
oFF(OFF)	特定の相手にエマージェンシーを送信しません。
ALL/ GIDO ~ GID9/ ID0 ~ ID99	設定した選択呼出しIDの相手にエマージェンシーを送信します。

5 【▶】を押す

設定を確定して、エマージェンシーメニューの設定項目選択画面に戻ります。

オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。

- UCM-100コントロールマイクロホン<VOX対応>
- UHS-1イヤーフックタイプイヤホン
- UHS-2アコースティックチューブイヤホン
- UHS-3カナルタイプイヤホン
- EMC-5Fイヤホン付きクリップマイクロホン(マイク感度切り替え付き)<VOX対応>
- EMC-7イヤホン付きクリップマイクロホン(耳掛けタイプ)<VOX対応>
- KHS-21ヘッドセット(PTTスイッチ無しのシンプルタイプ)<VOX対応>
- KHS-29Fヘッドセット(耳掛けタイプ)<VOX対応>
- HMC-3(G)ヘッドセット(感度調整VOL付きVOX機能内蔵)
- HMC-4(G)リモコン対応ヘッドセット(感度調整VOL付きVOX機能内蔵)<VOX対応>
- SMC-34(G)リモコン対応ボリューム付きスピーカーマイクロホン
- KMC-45スピーカーマイクロホン



◆ ヘッドセットやイヤホンマイクロホンを接続しているときに、エマージェンシー機能やPTT ホールド機能を使用するときも<VOX 対応>のオプションを使用してください。<VOX 対応>以外のオプションを接続すると下記の状態になります。

- エマージェンシー送信時に送信者の音声相手に聞こえません。
- PTT ホールドで送信しても送信者の音声相手に聞こえません。



◆ 本機に使用できるオプション製品が追加されたり、生産が終了することがあります。オプション製品についてはカタログ等を参照してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、リセットしてください。

共通

症 状	原 因	処 置	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> ● 受信できない ● 音量レベルを上げても音が出ない 	送信中になっている	送信をやめる	20
	PTT ホールド機能が動作している	【PTT】を押して送信をやめる	32
	グループ番号が違う	グループ番号を相手と同じにする	14
	最大音量ボリュームが0に設定されている	1以上に設定する	29
	選択呼出しミュートがONに設定されている	OFFに設定する	38
相手と通話できない	運用モードが違う	相手と同じ運用モードにする	19
	チャンネルかグループ番号が違う	チャンネル、グループ番号を相手と同じに合わせる	14
	相手との距離が離れすぎている	通話のできる距離を目安に通話する	6
チャンネルが切り替わらない	キーロックになっている	キーロックを解除する	23
	【◀】/【▶】キーがチャンネルアップ/ダウン以外の動作キーに設定されている	簡易メニューでチャンネルを切り替える	14
送信ができない	「受信」が点灯している	チャンネルを変更するか、「受信」が消えるのを待つ	14
	送信禁止がONに設定されている	OFFに設定する	31
音声が聞き取れない	送信側または受信側いずれか一方のボイススクランブル機能がONになっている	送信側 / 受信側ともにスクランブル機能をONまたはOFFの同じ設定にする	15
何も聞こえないのに「受信」が点灯する	グループ番号が設定された状態でスケルチがOFFになっている	スケルチレベルを1～5に設定する	29
オートチャンネルセレクトが動作しない	グループ番号が設定されていない	グループ番号を設定する	14
	運用モードがレピーターアクセスモード(SdP)に設定されている	シンプレックスモード(SP)に設定する	19
	自局ID番号が設定されている	自局IDをOFFに設定する	36

中継器を使用している場合

症状	原因	処置	参照ページ
中継器にアクセスできない	アクセスエラー音が鳴らない ● 運用モードがレピーターアクセスモードになっていない	運用モードをレピーターアクセスモード(SdP)に設定する	19
	アクセスエラー音が鳴る ● チャンネル番号、グループ番号が中継器の番号と違う	チャンネル番号、グループ番号を中継器の番号と合わせる	14
	● 中継器との距離が離れすぎている	通話のできる距離を目安に通話する	6

選択呼出し機能を使用している場合

症状	原因	処置	参照ページ
選択呼出し機能が動作しない。(「SEL」が表示しない)	自局 ID を登録していない	自局 ID を登録する	36
個別 ID を選んで【PTT】を押しても送信できない	選択呼出しリストで自局 ID と同じ ID を選んでいる	呼出したい相手の個別 ID を選ぶ	39
		各トランシーバーの自局 ID を別々の番号に設定する	36
呼出された相手の ID 番号が表示されない	登録していない ID 番号のトランシーバーから呼出されている	個別呼出し設定に該当する個別 ID を登録する。	37

リセット

リセットをおこなうと、設定されている内容はすべて初期の設定状態に戻ります。

1 一度電源をOFFにする

2 【PTT】と【MENU】を押しながら、**[P]**を押して電源をONにする

表示が全点灯します。



- 全点灯時に本機では使用しないアイコンも表示されます。

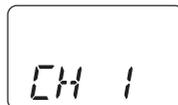
3 【PTT】、【MENU】、**[P]**のいずれかのキーを離す

「SURE」と表示されます。



4 **[▶]**を押す

オールリセットして、受信待受け状態になります。



- **[▶]**以外のキーを押した場合は、リセットしないで、受信待受け状態になります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

【保証書（別添）】

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

【保証期間】

保証期間は、お買い上げの日より **1 年間**です。

【補修用性能部品の最低保有期限】

ケンウッドはこの本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年保有しています。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

【修理に関する相談窓口】

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンターへお問い合わせください。（お問い合わせ先は、“ケンウッド全国サービス網”をご覧ください。）

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(48 ページ)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合、設定されたデータが消去される場合がありますので、別途お客様ご自身でお控え下さいますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合等によって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、ケンウッドは一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

【保証期間中は】

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所が修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

【保証期間が過ぎているときは】

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。修理をご依頼のときは、製品名、製造番号、お買い上げ日、故障の状況(できるだけ具体的に)、ご住所、お名前、電話番号をお知らせください。

【修理料金の仕組み】（有料修理の場合は次の料金が必要です。）

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

仕様

チャンネル数	47 ch
	シンプレックスモード: 20 ch
	レピーターアクセスモード: 27 ch
使用周波数帯	400 MHz 帯
送信出力	10 mW/1 mW
電波型式	F3E、F2D
低周波出力	45 mW 以上(8 Ω負荷 10 % 歪率時)
電源電圧	DC 5.5 V
使用温度範囲	- 10 °C ~ + 50 °C
外形寸法 (突起物含まず)	幅 150.3 × 高さ 50 × 奥行 210.3 mm
本体質量 (重さ)	約 440 g

※仕様は予告なく変更することがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金で問い合わせが可能です)
携帯電話・PHS・IP 電話からは、045-450-8960
FAX 045-450-2287
住所 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付日 月曜日～土曜日 (祝祭日・弊社休日を除く)
受付時間 月曜日～金曜日 9:30～18:00
土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または最寄りのケンウッド・サービスセンターにご相談ください。(“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)
- ユーザー登録(My-Kenwood)をご利用ください。
お買い上げいただいたケンウッド商品をご愛用いただくために、弊社ホームページ内でユーザー登録することをおすすめします。

URL <http://jp.my-kenwood.com>